

予 算 審 査 特 別 委 員 会

1. 日 時 平成23年3月9日(水曜日)
午後1時30分～午後2時11分(暫時休憩)
2. 場 所 委 員 会 室
3. 出席委員 徳 並 伍 朗 委 員 長 高 木 法 生 副 委 員 長
竹 岡 昌 治 委 員 安 富 法 明 委 員
南 口 彰 夫 委 員 大 中 宏 委 員
河 村 淳 委 員 村 上 健 二 委 員
原 田 茂 委 員 山 本 昌 二 委 員
田 邊 諄 祐 委 員 柴 崎 修 一 郎 委 員
荒 山 光 広 委 員 西 岡 晃 委 員
河 本 芳 久 委 員 下 井 克 己 委 員
岩 本 明 央 委 員 山 中 佳 子 委 員
三 好 睦 子 委 員 萬 代 泰 夫 委 員
有 道 典 広 委 員 岡 山 隆 委 員
馬屋原 眞 一 委 員 秋 山 哲 朗 議 長
布 施 文 子 副 議 長
4. 欠席委員 な し
5. 欠 員 1名
6. 出席した事務局職員
重 村 暢 之 議 会 事 務 局 長 岩 崎 敏 行 議 会 事 務 局 主 査
岡 崎 基 代 議 会 事 務 局 係 長
7. 説明のため出席した者の職氏名
林 繁 美 副 市 長 波 佐 間 敏 総 務 部 長
福 田 和 司 総 務 部 次 長 倉 重 郁 二 総 務 部 財 政 課 長
田 辺 剛 総 合 政 策 部 長 藤 井 勝 巳 美 東 総 合 支 所 長
杉 本 伊 佐 雄 秋 芳 総 合 支 所 長 川 島 茂 総 務 部 税 務 課 長
久 保 宏 二 総 務 部 監 理 課 長 内 藤 賢 治 総 務 部 国 体 推 進 課 長

奥田源良	総合政策部企画政策課長	末岡竜夫	総合政策部地域情報課長
平田耕一	美東総合支所総務課長	桑原章光	秋芳総合支所総務課長
山田悦子	市民福祉部長	古屋勝美	市民福祉部次長
田代裕司	市民福祉部地域福祉課長	佐々木郁夫	市民福祉部生活環境課長
杉原功一	市民福祉部市民課長	白井栄次	市民福祉部高齢障害課長
堀洋数	美東総合支所市民福祉課長	竹澤茂	秋芳総合支所市民福祉課長
久保毅	会計管理者	西山宏史	監査委員事務局長
矢田部繁範	建設経済部建設課長	西田良平	総合観光部観光振興課長

午後 1 時 3 0 分開会

委員長（徳並伍朗君） 只今より予算審査特別委員会を開会いたします。委員の皆様をはじめ執行部の皆様には、円滑な委員会運営にご協力を賜りますようお願いを申し上げます。また、秋山議長、布施副議長にはオブザーバーとしてご協力をよろしくをお願いいたします。

それでは先の本会議におきまして本委員会に付託されました議案 11 件につきまして、審査をしたいと思っております。なお審査の日程でございますが、本日から 11 日までの間で一般会計予算の審査、14 日と 15 日の両日で全特別会計、水道事業会計、病院等事業会計、公共下水道事業会計の審査とし、5 日間で会計ごとに審査を進めてまいりたいと思っております。また、一般会計、特別会計、企業会計の予算説明、質疑が全て終了したのち村田市長に出席をお願いし、総括審議を行います。それでは本日の審査の進め方でございますが、一般会計予算の説明にあたっては、歳出の款ごとの審査といたしますが、歳出は主要事業、新規事業を、またその歳出に係る歳入についてのご説明をいただきたいと思っております。款によっては所管部局が多数となるため、それぞれの部局からの説明をお願いをよろしくいたします。それでは副市長さんご報告等ございませんか。

副市長（林 繁美君） ございません。よろしくお願いいいたします。

委員長（徳並伍朗君） 議長さんおられません。副議長さんご報告等ございませんか。

副議長（布施文子君） ございません。よろしくお願いいいたします。

委員長（徳並伍朗君） それでは議員の皆さん方ご報告等ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（徳並伍朗君） それではこれより審査を始めます。議案第 11 号平成 23 年度美祢市一般会計予算を審査いたします。最初に財政課長より総括説明を求めます。はい、波佐間総務部長。

総務部長（波佐間敏君） 議案第 11 号平成 23 年度美祢市一般会計予算から説明させていただきますけれど、進行について若干補足させていただきます。まず財政課長の方から、予算の概要に基づきまして、平成 23 年度の予算の概要を説明させていただきます。その後、総合政策部企画政策課長のほうから第一次美祢市総合計画実施計画につきまして、説明させていただきます。その後、款ごとにまず、議会費、総務費、民生費というふうに説明させていただきます。総務費の中におきまして、市税関係等の税収入につきまして、財政課長のほうが説明させていただきます。

す。以上、それではまず、最初に財政課長から説明させていただきます。よろしく
お願いいたします。

委員長（徳並伍朗君） 倉重財政課長。

総務部財政課長（倉重郁二君） それでは私から議案第11号平成23年度美祢市
一般会計予算の概要につきまして、ご説明を申し上げます。お手元の別冊の23年
度の予算の概要、こちらに基づきまして説明をいたしたいと思います。新年度の予
算編成にあたりましては、第一次美祢市総合計画の基本理念であります、『市民が
「夢・希望・誇り」をもって暮らす交流拠点都市 美祢市』の実現に向けた諸事業
を着実に推進するため、総合計画の五つの基本目標であります、安心・安全の確
保、観光交流の促進、産業の振興、ひとの育成、行財政運営の強化を基調といたし
まして、予算編成を行ったところでありまして、2ページ、3ページをお
開き下さい。3ページをご覧いただきたいと思っております。一般会計を始め、各特別会
計、企業会計の予算規模を前年度と比較して計上いたしております。本市の新年度
当初予算規模でございますが、まず一般会計の予算規模は165億9,600万円
となり、平成22年度当初予算額152億3,600万円と比較いたしますと、1
3億6,000万円、8.9%の増といたしたところでありまして、2ページの財政
規模の推移をご覧いただきたいと思っておりますが、新市発足後初の増額予算となつた
ところでありまして、増額となりました主な要因といたしましては、公営住宅下領北団
地建替事業、大嶺中学校校舎改築事業などの大規模事業の実施や平成22年7月豪
雨災害の確実な災害復旧への対応を図ることによるものであります。3ページにお
戻りいただきまして、特別会計につきましては、前年度より老人保健医療事業特別
会計及び簡易水道事業特別会計の2会計を廃止いたしまして、7特別会計といたし
ております。一般会計と特別会計の合計は、本年度245億3,498万3,00
0円、前年度232億9,039万円で、12億4,459万3,000円、5.
3%の増となつたところでありまして、続きまして、歳出の概要につきましてご説明
を申し上げます。8ページ、9ページをお開き下さい。まず、8ページの目的別分
類をご覧いただきたいと思っております。歳出の目的別内訳では、民生費が全体の25.
4%を占める42億955万7,000円、次に公債費が13.3%の22億19
8万4,000円、続いて総務費が12%、土木費が10.8%というふうになつ
ております。次に款別に増減となりました主な要因につきまして、ご説明を申し上
げます。まず1.議会費におきましては、本年6月地方議会議員年金制度の廃止に
伴う公費負担の増などによりまして、新年度予算額2億4,194万8,000円

で対前年度5,878万7,000円、32.1%の増となったところであります。2.総務費では計画的に整備を進めておりますサインシステム整備事業が4,860万7,000円の増、山口国体開催経費3,453万4,000円の増、ゆたかなまちづくり基金への積立金1億円の増に対しまして、退職手当におきまして退職者が前年度の14名から10名となることにより、7,510万7,000円の減額となりまして、新年度予算額19億9,317万円、対前年度7,751万8,000円、4.0%の増となったところであります。3.民生費では、生活保護費、子ども手当、障害者自立支援費などの扶助費の増によりまして、新年度予算額42億955万7,000円、対前年度1億8,753万、4.7%の増であります。4.衛生費でございますが、上水道未普及地域解消事業や、浸水対策事業に係る繰出金などによりまして水道事業会計繰出金7,657万8,000円の増などによりまして、新年度予算額19億7,774万円、対前年度7,060万5,000円、3.7%の増となっております。5.労働費では、新年度予算額5,689万3,000円、対前年度466万8,000円、7.6%の減であります。6.農林費では、鳥獣被害緊急総合対策事業2,300万円、農業集落排水事業繰出金1,278万3,000円の増に対しまして、土地改良事業償還助成金1,973万8,000円の減などによりまして、新年度予算額10億1,068万3,000円、対前年度670万円、0.7%の減でございます。7.商工費では市街地の空き店舗活用に対する支援を行う美祢あきない活性化応援事業補助金520万、JR美祢線の沿線や観光地の景観整備事業1,000万円、また市観光の情報発信やイメージアップ促進事業などの増によりまして、新年度予算額は2億8,014万1,000円、対前年度2,624万4,000円、10.3%の増でございます。8.土木費ですが、公営住宅下領北団地建替事業2億5,351万1,000円の増、市道渋倉伊佐線延長改良事業4,800万円の増などによりまして、新年度予算額17億9,249万円、対前年度2億8,235万2,000円、18.7%の増であります。9.消防費です。消防ポンプ自動車購入事業1,890万円、防火水槽設置事業1,984万5,000円の増などによりまして、新年度予算額5億7,199万2,000円、対前年度3,592万7,000円、6.7%の増です。10.教育費では、大嶺中学校校舎改築事業4億2,701万4,000円の増などによりまして、新年度予算額16億5,037万1,000円、対前年度3億9,008万5,000円、31%の増でございます。11.災害復旧費では、平成22年7月豪雨災害の確実な災害復旧への対応を図ることにより新

年度予算額5億8,903万1,000円で、対前年度3億6,814万6,000円、166.7%の増となっております。12.公債費につきましては、償還のピークを過ぎたこともありまして、新年度予算額22億198万4,000円、対前年度1億2,782万6,000円、5.5%の減となったところであります。以上が款別の増減となりました主な要因であります。つづきまして、9ページの性質別区分によります歳出につきまして主な増減要因についてご説明申し上げます。義務的経費の1.人権費では職員数、定年退職者数の減少により前年度と比較して、6,608万9,000円、2.0%減の32億8,530万3,000円となりました。2.扶助費では、生活保護費、子ども手当、障害者自立支援費などの扶助費の増加により対前年度2億507万2,000円、10.4%増の21億6,785万2,000円となっております。3.公債費につきましては、先ほどご説明いたしたとおりであります。義務的経費総額では人件費、公債費は減となったものの、扶助費の伸びによりまして、総額ではほぼ前年度と同額の対前年度比0.1%、1,115万7,000円の増となったところであります。次に投資的経費の4.普通建設事業費では、新年度予算額16億6,944万3,000円、前年度予算額11億4,105万4,000円に対し、5億2,838万9,000円、46.3%の増となったところであります。主な要因といたしましては、先ほど目的別分類でもご説明を申し上げました、公営住宅の建替事業、中学校校舎改築事業の大規模事業の実施によるものであります。5.災害復旧事業費につきましても、先ほどの目的別分類により説明をいたしました今年の7月豪雨災害に係る災害復旧による増でございます。次にその他6.物件費につきましては、子宮頸がん等ワクチン接種委託料や教科書改訂に伴う教師用教科書、指導書及び指導教材の購入費、新学習指導要領の改訂によります教材用具の整備などによりまして、5,238万8,000円、2.5%の増となっております。次に8.補助費等の増についてですが、国体実行委員会の補助金、鳥獣被害緊急総合対策事業、簡易水道事業の水道事業会計への統合による増などによりまして、3億51万4,000円、12.2%の増となっております。9.積立金につきましては、平成22年度の災害復旧事業において施越事業の財源として、ゆたかなまちづくり基金1億円を取り崩し、対応したものを平成23年度に積み戻しを行うこととしたことによりまして、約1億円、2,227.2%の大幅な増となったところであります。以上が歳出についての説明であります。続きまして、歳入についてご説明を申し上げます。4ページにお戻りいただきたいと思っております。歳入についてですが、まず、歳入の構成比

を見てみますと、地方交付税が全体の39.5%を占めております。次に市税が19.9%、国庫支出金11.5%、市債10.3%となっております。次に款別の主な内容につきましてご説明を申し上げます。まず1の市税ですが、6ページをお開き下さい。市税の内訳を掲載いたしております。まず、市民税の個人分ですが、昨今の雇用情勢の悪化を受け、減収と見込んでおりますが、一方法人分では一部企業の業績改善等を見込み、増額といたしまして市民税総額では、ほぼ前年度並みを見込んでおります。固定資産税では、一部企業の設備投資による償却資産の増見込みなどによりまして、対前年度6,417万9,000円、3.8%の増といたしております。その他の税につきましては、決算見込みなどにより調整をいたした結果、市税全体では対前年度比2.2%増の33億819万円を計上いたしております。4ページにお戻り下さい。続きまして、10.地方交付税につきましては普通交付税、特別交付税合わせまして65億6,200万円で、対前年度1億5,000万円、2.2%の減といたしております。普通交付税におきましては、測定単位であります人口が平成22年国勢調査人口へ置き換えられること、また公債費の減に伴いまして、交付税算入額の減などを見込みまして、1億円の減額といたしております。特別交付税につきましては、交付税総額における特別交付税の割合の引下げに伴いまして、5,000万円の減額といたしております。次に14.国庫支出金では、19億1,545万円、対前年度6億9,109万、56.4%の増となりました。事業の増減等によりまして所要額を計上しておりますが、主な増要因といたしましては、先ほどから申しております、公営住宅建替に係る補助金として、社会資本整備総合交付金が1億3,318万1,000円、中学校校舎改築に係ります安全安心な学校づくり交付金2億3,720万5,000円、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担金1億5,523万5,000円の増が主な要因でございます。15.県支出金では、15億8,407万9,000円、対前年度3億9,324万5,000円、33%の増となりました。主な要因は農林施設災害復旧事業県補助金5億6,638万8,000円の増に対しまして、昨年度計上しておりました、介護基盤緊急整備等基金補助金1億2,775万の減などの差引きによるものであります。18.繰入金につきましては、持続性のある財政基盤を構築していく観点から、基金の取り崩しに頼らない予算編成に心がけた結果、前年度より1億75万1,000円の減額といたしております。つづきまして、21.市債ですが、17億120万円、対前年度4億8,100万円、39.4%の大幅な増となっております。公営住宅建替事業や、中学校校舎改築事業の大規模事業の財源とい

たしまして、また平成22年度より過疎地域自立促進特別措置法の一部改正により、新たに借入ができることとなりました過疎対策事業債・ソフト事業分といたしまして、1億3,400万円の借り入れを予定いたしております。また、実質的な地方交付税の代替え財源として措置されます臨時財政対策債につきましては、8億5,650万円を計上いたしております。続きまして、5ページのウ自主財源比率をご覧くださいと思います。自主財源比率につきましては、対前年度1.4%減の25.1%となりました。これは、大規模事業の財源としての国・県補助金や市債の増額などによりまして、予算総額が膨らんだこと。また、基金の取り崩しに頼らない、予算編成に心がけた結果、繰入金を減額したことによりまして、減となったところであります。続きまして、13ページをお開き願いたいと思います。13ページから16ページにかけては、特別会計の状況を掲載いたしております。次に17ページですが、17ページ以降につきましては、本市の基金残高の推移、また市債残高の推移等を掲載をいたしております。堅実な予算の執行に努めていきまして、今後も基金の確保、また、市債残高の減少に努めることといたしております。続きまして、25ページをお開き願いたいと思います。A3の見開きになる部分ですが、平成23年度美祢市一般会計重点事業について掲載をいたしております。美祢市の第1次総合計画の基本理念でございます先程も申し上げましたが、『市民が夢・希望・誇りを持って暮らす交流拠点都市 美祢市』の実現に向け、総合計画の五つの基本目標のそれぞれにつきまして、平成23年度の重点施策を掲載いたしております。まず、安全・安心の確保の重点施策をいたしまして、「災害に強いまちづくり」「住みよいまちづくり」「復活、美祢線支援」の三つの重点施策を掲げております。まず、「災害に強いまちづくり」では、安全で安心して住める災害に強いまちづくりを目指しました諸事業や、昨年7月の豪雨災害の災害復旧事業費などといたしまして、6億1,534万9,000円を計上いたしております。2点目の「住みよいまちづくり」では、外から見た美祢市を考える会の開催や、UJIターン促進事業、空き家情報バンク活用応援事業などの定住対策事業、また公営住宅建替事業で、併せまして2億5,523万1,000円でございます。3点目の「復活、美祢線支援」では、昨年の豪雨災害により、不通となっておりますJR美祢線の復興支援対策経費といたしまして、1,204万円を計上いたしております。次に、総合計画の基本目標「観光交流の促進」の重点施策といたしましては、市民協働参画による、ユネスコの支援により設立されました、世界ジオパークの登録認定に向けた取り組みを開始することといたしておりまして、地球遺

産世界ジオパーク登録に向けてといたしまして428万3,000円を、次に基本目標「産業の振興」の重点施策では、拠点市街地活性化基本計画の策定や、市街地の空き店舗活用に対する支援を行う美祢あきない活性化応援事業としての、取り戻そう、元気でにぎわう商店街といたしまして、542万円を計上いたしております。次に、基本目標「ひとの育成」の重点施策では、1点目といたしまして、学校施設の第2次耐震診断業務、大嶺中学校校舎改築事業などで、安心、学校施設耐震化、4億3,462万3,000円であります。2点目といたしましては、今年度開催されます国体開催関連経費といたしまして、成功させよう山口国体、1億449万4,000円あります。最後に「行財政運営の強化」の重点施策といたしましては、地域の目指す姿を地域全体で考え、誇りのもてるふるさとづくりを実行する経費の支援としての、ふるさと応援未来創造交付金事業や、地域発信チャレンジ推進事業などによりますふるさと応援、未来創造に向けて、3,155万円あります。以上、八つの事業を総合計画に掲げる、五つの基本目標における平成23年度の重点施策事業といたしております。以上で、私からの平成23年度の当初予算の概要の説明を終わらせていただきます。

委員長（徳並伍朗君） 次に第一次美祢市（発言する者あり）あと、款ごとにやりますから。款ごとに。（発言する者あり）はい、どうぞ。

委員（南口彰夫君） あの、今、説明をされたのは、恐らく担当課長個人の意見ということよりも、その美祢市の予算概要ということで、市長以下美祢市の職員全体が積算をされて積み重ねられて、総予算が165億の予算を積み立てたと。いや組み立てたという説明をなされたんですね。そこで、私、一般質問の時に、そのとりわけ今年度の予算が、災害対策の災害復旧の中心に大きな公共事業の発注につながるということで、私が、取り上げたのが、公共事業に関わってですね法のもとに適正かつ公平公正に実施されているかということを質問し、それぞれの所管に関わるところで、調査をしていただきたいというお願いをしちやるんです。ところが、一番大事な市民の税金なんですか165億。全部がじゃあないです。その何割が直接市民が払っている固定資産税とか、その他の車両税とか含めてですよ。あとは、国の国民の補助金が入っていますから、国民の税金、市民の税金なんです。これが、法のもとに適正かつ公平公正に使われているのか。そこに何らかの問題があるんじゃないかって、私は、わざわざ私の議員の職をかけて、株式会社ユウエイ、代表取締役有道議員の工事、請負工事等含めて、私、この一週間ずっと現場見て回ってるんです。その調査をいくら予算の数字を立派に組み立てたとしても、この予

算が法のもとに適正に、使われているのかどうなのかが今、一番市民や国民の関心事なんです。私たちが、一杯、飲み屋で飲みようが、何しようが税金泥棒とか、税金の無駄遣いとか、このことが市民から大きな批判を受けているんです。そういったことで、それぞれの所管のところで調査をお願いしたいということは、税金の使い道についてしっかりしなければ、このいくら中身をこういう予算で配分したと、こうしたと。ところが、担当課長が全部、それこそ使われるところの一つ一つまで立ち会うちよるわけじゃあないんですよ。その辺も含めて、一言まず、ここでは、副市長ですから、副市長に何らかの対応したのか、しないのかも含めて一言だけ発言をお願いしたいと思います。

委員長（徳並伍朗君） 林副市長。

副市長（林 繁美君） 南口委員のご質問ですが、どうしておるのかということですが、適正な予算に適正なる執行がなされてるかどうか。その辺はじゅうじゅうに執行部ともどもチェックしてまいるつもりです。

委員長（徳並伍朗君） はい、南口委員。

委員（南口彰夫君） 適正になされているかどうかは、いいんですけど、この間、私が調査をしよる間、市役所は何にもしなかったんですかね。何らかの工事現場をきちんと、何らかの対応を指導は何もされてないんですか。その辺を最後に一言。

委員長（徳並伍朗君） 林副市長。

副市長（林 繁美君） 只今のご質問の趣旨ですが、初めに申された事業者の工事のことですかね。この件に関しては、確か先週の金曜日3月4日ですか、担当所管課のほうから連絡が入りまして、工事について工程表等もありますが、具体的には安全柵が設置されていないという事実がわかったので、即座に工事を停止させたという報告は受けております。

委員長（徳並伍朗君） はい、南口委員。

委員（南口彰夫君） 副市長の表現の仕方、非常にやさしいからわかりにくいんです。単純に言うなら、その先程、住宅の建て替え、災害対策も含めて公共事業が市内の業者に大量に発注されちよるんですね。その中をインターネットで検索をして、私は現場をチェックして歩く。そうすると、法のもとに適切な工事が行われているのか、予算が執行されているのかということにいけば、少なくとも、現場で明らかに手抜き工事なんです。手抜き工事をし、恐らく終了したら予算どおりのお金をもらうんです。一番大切な安全対策が全くなされていない。どんなど素人が何らかの仕事をするっちゅうやあ、まずは、周辺部の交通弱者、お年寄りや子どもが何

らかのそれに巻き込まれるかどうかを危険を予知しながら、対策を取るもんなんです。車を運転して途中でパンクしても、何らかの安全対策で三角の標識を立てて、それから車をそばに寄せた状態でパンクを修理するとか、車の運転であろうが、自転車の運転であろうが安全第一で。ところが一番大事な安全対策を行っていないまんま、当然その工事、事業の中に安全対策っちゅうのは、発注するときの基本なんです。それを怠ったまんま事業を進められているということが、その後発覚しちよるんです。ところが、監査室も人も予算も足りないということで、何の対応もしていないのか。監理課もそうなんです。土木部もそうなんです。とりあえず慌てて、事業の工事の差し止めをしたと。ところがこんな無責任な予算の使い方がありますか。そんな状態が放置されたまんま、この大事な165億の中身をあんた達に、職員じゃないんですよ、議員も含めてなんです。今、田邊議員が手を挙げようとした。まあ似たり寄ったりのことをしちよるから、自分も何か言いたいということであったのかなと。私はふと思った。私の発言を妨害するためか、それとも同じような発想で人が一人死のうが、手抜き工事をしようが、全く自分たちの利益しか考えないからこういう状態になるんです。この問題をじゃあない。きちんと対応を。議会もそうなんです。なあなあで長年やってきちよるから、こういう状態が生まれるんです。執行部や市長の責任とは、私は思ってません。全てシステムの責任なんです。このシステムをきっちり整理するまでは、この予算に入ったって、いくらまじめな議論をしたって、これほど、むなしいものはないと思います。まして、議長もおりもせんで。一番大事なこの問題をどう取り計らうか、まず委員長のほうから、この委員会を今までどおり長年やってきた、マンネリの、それこそ税金の無駄遣いが集まったところですよ。手抜き工事がやられ、工事を差し止めた。そのことそのものを、みんな知らん顔して引き続きやられるんなら、やって下さい。ただし私は、認めませんよ。あと、委員長。

委員長（徳並伍朗君） 暫時、休憩をいたします。（発言する者あり）暫時、休憩をいたします。時間を取りませんが、早く再開をしたいと思います。

午後2時11分休憩

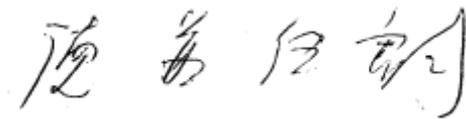
.....

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成22年3月9日

予算審査特別委員会

委員長

Handwritten signature in cursive Japanese characters, likely reading 'Ishihara Shiro' (石原 四郎).